



議長 滝沢市長の就任以来、子育て支援の内容は近隣に負けないくらい手厚くなり、充実したと感じています。また、不妊治療費と不育症治療費の助成制度も創設され、よりきめ細かなサポートにつながっていると思っています。

少子化対策には結婚の魅力をアピールすることも必要ですね。結婚にはある程度苦楽が伴いますが、夫婦が役割分担し、持ちつ持たれつの関係で助け合っていくのが

市長 移住の切り口で市が評価を受けたことは、全国的に見ても三条市がものづくりという堅固な基盤の産業があるまちで、安心して働ける地域であることが大きな要因だと思います。

移住者に多額の補助金を出しま



子どもが育つ環境づくり

市長

一昨年度、子どもの医療費助成を18歳となる年度までに拡大し、今年度には子どものインフルエンザ予防接種費用の助成を始めました。こうした三条市の経済サポートは今や他市以上です。当市の子育て支援が充実していることは皆さまに伝わってきているようで、近年、近隣市町村から三条市に引っ越して来られる子育て世帯の方々が増えてきています。

結婚の魅力かなと思います。

移住促進の取り組み

市長

お陰さまで、これまで複数のテレビ番組で「移住したい全国ランキング」のトップ10に三条市がランクインしました。地場産業をはじめ長い間このまちが築き上げてきたことが、移住という切り口で評価されていると思っています。できれば三条市立大学や三条看護・医療・歯科衛生専門学校の見学・医療・歯科衛生専門学校の学生たちに市内で住み続けてもらいたいですが、まずは在学期間中に、三条市が良いまちだと感じてもらえたらと思っています。

議長



所が石上大橋です。現在工事中の国道403号三条北バイパスが県道塚野目代官島線まで開通すれば、渋滞が少し緩和されると思います。その先、都市計画道路路である、国道289号バイパス(仮称)石上大橋下流橋の事業認可を早急に得ることにより、尊い命を助けることができると思っています。

国道289号

八十里越の開通に向け

市長

あと数年で国道289号八十里越区間が開通すると言われていますが、開通に向けてさまざまな準備が必要なため、国には開通の時期が分かり次第教えてほしいと頼んでいます。

開通すると、下田地域が太平洋側からの玄関口となり、注目度が高まります。この機会をうまく活用して、市のPRや観光客の誘致をしたいと思っています。アイデアの一つとして5号橋梁の愛称

募集なども考えています。

議長

開通と同時に福島県との交流が進み、産業や経済的にも良い面が出てくると考えています。国道289号八十里越から見える各所の風景は素晴らしく、私は日本の景勝地になると思っています。全国から人が集まり、景観とまちを楽しんでもらえる観光地となるよう、いい湯らていを大いに活用してほしいです。諸橋轍次記念館を中心に漢字文化もPRしていければと思います。



国道289号八十里越 5号橋梁